



町民の「声」を直接聴く 鶴の里まちづくりミーティング

△昨年11月に行われ、30人が参加したことぶき大学受講生とのまちづくりミーティング

**顔と顔を合わせて
直接町民の声を聞く**

町では広聴活動の一環として、町に対する意見や要望を常時受け付けています。

町民の声を直接聴く場として、以前は各地区を対象に懇話会を行っていましたが、平成28年度からは町内で活動する団体を対象に「鶴の里まちづくりミーティング」を実施しています。

まちづくりミーティングは、相川町長や担当課長などが各種団体を訪問し、所属する団体の活動に関する思いや課題について話を聴くほか、まちづくりに関する意見や要望を直接伺い、回答をします。

町では、これまでいただいた意見や要望を参考にして、町民目線での行政運営に取り組んでいます。

**話しやすい環境で
肩の力を抜いて懇談**

鶴の里まちづくりミーティングの特徴は、参加者が話しやすい環境です。その理由の一つが開催する場所です。参加者がリラックスして発言しやすいように、一般的な会議室ではなく、鶴遊館や公民館など、参加団体が普段活動している場所などを使っています。

また、参加者も基本的には1

団体約10人前後と少人数で行うため、緊張せず、気軽に語り合える場になっています。

**テーマを決めずくば
らんにミーティング**

平成29年度は、水元中央小学校5年生児童、鶴の舞橋観光ガイド、町食生活改善推進協議会の3団体、計28人とのミーティングを開催しました。今年度は、老人クラブ連合会、子ども会育成連絡協議会とジュニアリーダーズクラブ「H・Z・U・R・U」、傾聴ボランティア「つるりんの会」、ことぶき大学受講生、みどりの会の6団体、計68人とミーティングを開催し、中学生からお年寄りまで幅広い年齢層からさまざまな意見、要望を聴く



△幅広い年齢層からの意見などを聴くことができました

ことができました。

鶴の里まちづくりミーティングは基本的にテーマを決めず、普段生活していて感じることを、要望したいことなど、どんな意見でも相川町長をはじめ、行政に直接話せる重要な場です。ミーティング中に相川町長は「そこに住んでいる皆さんだからこそ気付けることがある。私たちだけでは町内全てを把握しきれないこともあるので、どんな意見、要望を出してほしい」と話していました。

今後も町民の「声」としてさまざまな町の団体から意見・要望を聴き、まちづくりに反映させるため、鶴の里まちづくりミーティングを続けていきます。



△笑顔で受け答える相川町長、成田副町長

過去にまちづくりミーティングで出された ご意見・ご要望への町の対応（一部抜粋）

ご意見・ご要望

町の対応

(H28)農業大学講座で直売所に出すためのやり方や仕組みなどの講座を開催してほしい。

→

平成30年度の講座で、自社で生産から販売まで行っている農産物直売所（オヤマ・アグリサービス）の視察を実施しました。

(H28)生徒、保護者から、給食が毎日米飯であることに不満が出ている。週に1回、または月に2、3回でもメニューを変えてほしい。

→

平成29年度2学期から月に2回米粉パンを提供し、スープなどもパンに合ったものを提供しています。また、平成31年度2学期からは、うどんなど麺類のメニューも導入予定です。

(H28)学校給食について、決まった曜日に変わったメニューが献立にあると毎週楽しみになると思う。

→

新給食センターでは新しい調理機器も導入されることから、メニューのバリエーションが広がるものと考えています。変わったメニューの提供も含めて、皆さんに喜んでいただける給食の提供に努めます。

(H29)減塩で野菜と米粉を使った「つるりん鍋」を平成27年度に作ったが、1年限りで終了したのはもったいない。今後、いのちのまつりなどで継続できないのか。

→

平成29年度に健康長寿の町づくりシンポジウムの参加者に提供しました。また、平成30年度からはいのちのまつりで千人鍋を提供しています。

(H29)冬の舞橋の写真は好評で、自分の目で見たいという観光客もいる。冬の舞橋をもっとPRしたい。体験型の観光を展開したい。

→

平成30年度は、JR東日本秋田支社などとの連携により、冬の鶴の舞橋PR活動ができました。体験型の観光は、鶴の舞橋ガイド時に雪室リングの掘り起こし体験を試験的に実施しました。

(H29)富士見湖パークの駐車料金、鶴の舞橋の通行料を徴収してみてもどうか。

→

平成30年度に駐車場の舗装工事が完了し、平成32年度から有料化にするためのゲート設置などの整備工事を検討中です。

今年度のまちづくりミーティングで出されたご意見・ご要望（一部抜粋）

- 鶴遊館から出てみどり町側の車道が、左右非対称になっていて反対車線にはみ出してしまふことがあり、走りづらい。他にもあるかもしれないので、役場で見回りをして改善してほしい。
- ふれあいセンターの維持管理が難しくなっています。どうしたらいいか。
- 町に、より多くの働く場が増えてほしい。
- 冬場、鶴田高校付近の道があまり除雪されていない。鶴田小学校周辺の歩道もしっかり除雪してほしい。
- 丹頂鶴自然公園付近で大型バスが停車して乗り降りしているため、交通の妨げになっていると周辺住民から話を聞くことがある。
- 防災について、もし水害が発生した場合、誰が動いて、誰が炊き出しの係をするのかなど、どうすればいいのか教えてほしい。
- 全ての子どもたちに農業はどういうものなのかを感じてもらいたいため、小学校統合後も毎年1学年ずつ農業体験ができればいいと思う。
- 小学校統合にあたって、廃校になる学校はある程度耐震性がしっかりしているので、そのまま放置しておくのはもったいないと思う。

町では、広聴事業の一環として、町長などが町の各団体を訪問し、幅広い年齢層の人たちとまちづくりや団体の活動について懇談する鶴の里まちづくりミーティングの実施団体を募集しております。

興味のある団体、実施希望の団体は、お気軽に下記までお問い合わせください。

■問い合わせ先

鶴田町役場 企画観光課 まちづくり班（内線261）

